

2021 年度哲学堂祭実施のご報告

2021年11月6日(土)10時00分から、東京都中野区の蓮華寺・哲学堂公園において2021年度哲学堂祭を実施した。「哲学堂祭」とは、哲学の普及を願った本学の創立者井上円了の遺志により、毎年東京都中野区の蓮華寺・哲学堂公園において開催している。今年はコロナ禍において、昨年同様に規模を縮小して大学関係者のみでの実施となった。



哲学堂公園に隣接する蓮華寺で行われた墓前祭(井上円了の墓前での読経と焼香)の後、哲学堂公園内にある「四聖堂」へ移動し、哲学祭が行われた。冒頭に安齋隆理事長の挨拶、続いて井上円了の曾孫にあたる井上進氏による遺文の朗読、矢口悦子学長による「南無絶対無限尊」の三唱が行われた。



哲学堂公園内にある四聖堂には、井上円了が哲学の「四聖」と崇めた釈迦、孔子、ソクラテス、カントが祀られている。この四聖を毎年順番に取り上げ、同じく哲学堂公園内にある「宇宙館」において記念講演が行われている。

今年度は「孔子」をテーマとして、本学理工学部生体医工学科教授で、井上円了哲学センター副センター長の吉田善一先生が「論語とラグビー」と題して記念講演を行った。



当日は、円了の遺言によりふるまわれた甘酒、コーヒー、紅茶、お茶を楽しみながら歓談する姿が見られた。また、哲学堂祭の後には、社会貢献センターと井上円了哲学センター共催で哲学堂公園スタディツアーが開催され、通常非公開となっている、古建築物の見学が行われた。